

東京・大阪開催決定！

趣 旨

痴呆になっても重い障害をもっても、住み慣れた地域で、自分らしく暮らし続けたいと願う高齢者の思いを支え続けてきた、宅老所やグループホームの実践は、「通って」「泊まって」「自宅にも来てくれて」「いざとなったら住むこともできる」多機能性を備えたケアを生み出しました。

このような小規模多機能ケアは、2003年、厚生労働省老健局長の私的研究会である高齢者介護研究会が発表した報告書『2015年の高齢者介護』の中でも、施設ケアと在宅ケアの二分法を越えて、自宅や地域での暮らしを支える新たな形態として、今注目を集めています。

高齢者の尊厳を支え、利用者一人ひとりに寄り添い24時間365日切れ目なく生活を支える小規模多機能ホームの具体的実践を紹介するとともに、可能な限り自宅での暮らしを支えることを大切にした小規模多機能ホームの意義やこれからについて考えることを目的に開催します。

開催日時

東京会場：2005年3月25日（金）

北とぴあ（東京都北区）

大阪会場：2005年3月26日（土）

大阪府商工会館（大阪市中心部）

定員 各会場 300人

参加費 8,000円

小規模多機能ホーム巡回セミナー

小規模多機能ホームの

原点を学ぶ

小規模多機能ホーム巡回セミナー申込書

FAX：03-5912-6546

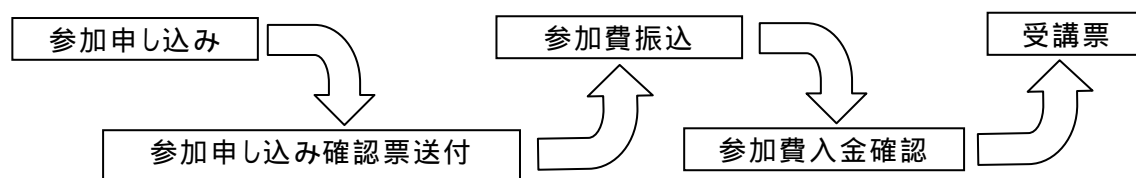
| | | | |
|------|-------|-----|--|
| 参加会場 | 東京 大阪 | | |
| 所 属 | | | |
| 氏 名 | | | |
| 住 所 | 〒 - | | |
| 電 話 | | FAX | |

内 容

| 時 間 | 内 容 ・ 講 師 | |
|-------------|-----------------------------------|-----------------------------------|
| | 東京会場(3月25日) | 大阪会場(3月26日) |
| 10:00～11:00 | 基調報告「小規模多機能ホーム取り巻く状況」 | |
| | 登壇者 東北福祉大学総合福祉学部 教授 高橋 誠一 | 登壇者 大阪府立大学社会福祉学部 専任講師 藤井 博志 |
| 11:00～12:00 | 実践報告 | |
| | 登壇者 デイホームあいあい(栃木県) 代表 高木 敏江 | 登壇者 託老所あんき(愛媛県) 代表 中矢 暁美 |
| 12:00～13:00 | 昼食・休憩 | |
| 13:00～14:00 | 実践報告 | |
| | 登壇者 くまハウス(東京都) 代表 大久保 信之 | 登壇者 ぶどうの家(岡山県) 代表 津田 由起子 |
| 14:15～16:00 | ディスカッション+質疑応答 | |
| | 基調報告者+実践報告 + 実践報告 | |

申し込み方法

表面の申し込み欄に必要事項をご記入の上、FAX、または郵送にてお申し込みください。
折り返し、参加費の振込方法、会場図などを記載した受付確認票をFAXにてお送りいたしますので、参加費をお振り込みください。
参加費の振り込みを確認し次第、受講票をお送りいたします。当日は、この受講票をお持ちになり、会場までお越しください。



主催・問い合わせ先

小規模多機能ホーム研究会

〒171-0014 東京都豊島区池袋 2-26-3 スプリングバレー (CLC 東京内)

電 話：03-5912-6545 F A X：03-5912-6546